

主に指導する教科・領域 社会

実 態	目 標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読みは、3年生程度の習熟。書きは、2年生程度の習熟。</li> <li>・「さしすせそ」の発音が苦手。「ひ」と「し」の聞き違いが多い。</li> <li>・体験から記憶した語彙が多い。</li> <li>・3、4年生は、社会を通常の学級で学習していたが、4年生の後半から学習内容を理解することが難しくなってきたため、特別支援学級で社会を学習している。</li> <li>・学習に対する意欲があまりみられないため、具体物や興味のある教材を教師が工夫して取り組ませている。</li> </ul>	長 期	日本地図を見て、産業や国土の様子が分かる。
	短 期	都道府県名を読むことができる。都道府県の場所が分かる。
	手 だ て	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・白地図を使って都道府県の形と名前を覚えるようにする。</li> <li>・各地の名産品や御当地クイズを交える等、都道府県名が興味のあるものと結び付くように工夫する。</li> </ul>		

< 実践事例 > 単元「日本を知ろう」(児童D)

① 交流及び共同学習を行っている通常の学級の友達が北海道や沖縄について調べ学習した新聞を見て、日本の観光地に興味をもった。

② 漢字の学習で都道府県名を読む練習をして、日本地図を用いて場所を確認した。



<都道府県名が書かれた日本地図>

③ 特産物の絵がかいてある地図を使って、都道府県の特色や場所をゲーム形式で確認した。

<問題例>

「りんごをたくさん作っている県はどこですか」

「修学旅行で6年生が行った県はどこですか。大仏が有名だね」



<都道府県名の特産物が記された日本地図>

④ 旅行のパンフレットを見て、県名と場所を当てるゲームを行った。

⑤ 自分の旅行したい場所について、発表することができた。  
さらに、その理由や目的を発表することができた。

〈発表例〉

「北海道へ行きたいです。飛行機に乗りたいたからです  
(雪祭りを見たいからです)」



〈旅行のパンフレット〉

評 価	今後の課題
<p>この単元を学習することで、「将来、就職してお金をため、旅行へ行く」という具体的な目標をもつことができた。</p> <p>自分の目標ができたため、苦手な漢字に意欲的に取り組むことができ、東北地方、関東地方という区分や都道府県名や場所についても覚えることができた。</p> <p>県庁所在地の学習は、指導継続中である。</p>	<p>日本の国土の特色や産業の様子学習につなげていきたい。</p> <p>新聞記事を読んで、記事に記載してある地名を地図で探すことを行っていきたい。</p> <p>白地図に都道府県名を記入できるようにする。</p>